



会長 岩 淵 正 彦
 幹事 高 橋 利 光
 会報 江 川 元 徳 清 水 健
 猪 股 育 夫 村 上 武 彦
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2514回例会 2015. 8. 27 No. 8

本日の出席率

・本日の出席率 98.1%

ニコニコボックス

- ・岩淵正彦会長 今日のスピーチ、小野寺伸浩会員に期待します。
- ・江川元徳会員 今日、誕生日。
- ・阿部泰彦会員 先日の登米・南三陸ふれあい盆踊り大会には大勢のロータリアンの皆様ご参加ありがとうございました。お蔭様で盛大に開催でき、仮設住宅の皆さんも市民の方々も楽しく喜んでいただきました。
- ・小野寺伸浩会員 本日はスピーチ担当です。よろしくお祈りします。
- ・鈴木彦太会員 若さとフレッシュの小野寺伸浩会員のスピーチを大いに楽しみご期待をいたします。
- ・布施孝之会員 小野寺伸浩会員のスピーチに期待します。
- ・飯塚仁哉会員 小野寺伸浩会員は何事にも意欲的で性格もいたって真面目そのままです。
- ・佐藤敬喜会員 二階堂茂さんのご逝去をお悔み申し上げます。
- ・菅野幸一郎会員 小野寺伸浩会員のスピーチにご期待致します。
- ・菅原文之会員 今日は若手のホープ、小野寺伸浩会員のスピーチです。楽しみに聞かせて頂きます。
- ・猪股育夫会員 小野寺伸浩会員のスピーチに期待。
- ・高橋義文会員 本日、小野寺伸浩会員のスピーチを楽しみに期待しております。チャーターメンバー元会長二階堂茂様のご逝去をお悔み申し上げます。
- ・高橋利光幹事以下、小野寺伸浩会員のスピーチに期待いたします。
- 佐々木崇会員 千葉吉男会員 伊藤俊郎会員

山田直志会員 小竹秀敏会員 佐藤静市会員
 佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 小泉洋会員
 菅原慶一会員 只野佳旦会員 富士原裕子会員
 武川毅会員 杉田広仁会員 及川富男会員
 佐藤早智子会員 千葉正宏会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 岩淵正彦会長

先週の例会では、村上武彦会員の貴重な戦時中の体験談、本当にありがとうございました。二度と戦争を繰り返さないように、体験した先輩方が語り継いでいくことが大事ではないかと思いました。話の中で佐沼の上空をB29が飛んでいくのを間近で見たと、そして仙台方面が赤く夜空を染めたとありましたが、私も親から（大きくなってからですが）仙台方面が真っ赤に見えたと聞いておりました。

アメリカは日本の重要な拠点を知りつくして、田舎などは爆撃しないで大都市仙台を爆撃したと……。おかげで田舎は助かりましたとありました。

又、22日の「ふれあい盆踊り大会」には、大勢の会員に参加していただき本当にありがとうございます。復興支援委員会の阿部泰彦委員長、南方仮設住宅での盆踊り、朝から降っていた雨も昼頃にはあがり盛大に行われ、被災者の方々と楽しいひと時を過ごせたこと、大変嬉しく思っております。一日も早い復興を願っております。

幹事報告 高橋利光幹事

- ・ガバナー事務所より
- 1. RYLA (ライラ) 参加申し込み締切日延長のお知らせ (8月10日→8月31日)
- 2. ロータリー米山記念奨学会研修会の案内
日 時 9月27日(日) 13:00~15:00

- 場 所 江陽グランドホテル 3階「孔雀の間」
- 登録料 2,000円
- 3. ロータリー国際大会(ソウル)参加登録のお願い
第1次締切日 10月30日(金)
- ・阿部泰彦復興支援特別委員長より
ふれあい盆踊り大会支援に対するお礼状が届く
- ・一関RC・一関修紅高等学校より
2520地区インターアクト年次大会報告書が届く
- ・ドリーム・キッズより
第13回ミュージカル公演のチケットが届く
- ・登米市絵本原画展実行委員会より
第16回登米市絵本原画展開場式の案内
日 時 9月3日(木) 午前9時~
場 所 登米祝祭劇場 正面玄関ホール

今週のスピーチ

「オートバイで北海道の旅」 小野寺伸浩会員
今年の夏、北海道に行って参りました。8月20日(木)例会が終わった後5時まで仕事をして、5時から八戸の方に移動して3日間北海道を走って参りました。全体では2,399kmの走行距離でした。走って来たコースは、1日目は苫小牧を出発し北海道の真中を通り縦断し、そこからオホーツク海の方に行き、サロベツ湖から稚内に入り、2日目は宗谷を通ってオホーツクを通って北海道の真中に行き釧路で2泊目、最終日は国道391を使って苫小牧に入るというルートを使っております。

ツーリングする上で私の心得というのがあります。基本理念があります。「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」これは松尾芭蕉の句で、私が高校の時に松尾芭蕉から学んだことです。お蔭様で風来坊の人生になりました。ポリシーとしては、極力計画を立てない。物を持たない。約束と予約をしない。これが私の旅のルールであります。基本的に一人旅です。誰ともつるまない。あとは地図を持たない。今回は持って行ったのですが途中でなくしました。仕事にアナをあげない。今回の場合は、木曜日の例会後午後5時まで仕事をし、30分で準備をします。物を持たないので30分あれば出来ます。そして、月曜日の5時に八戸に戻りますので大体8時20分には家に居ります。10時に入社しますので実質10時間位のロスになります。

2015年のテーマは「生誕50周年記念ツーリング」。50歳になりますので、あとは不人気ルートをかけておりますので、あえて札幌、小樽等の人気スポットには行っておりません。きっと皆様が一生走られないで終わるラインだと思います。人の行かない所ですからB級スポットですね。

次に行動パターンです。1日2食です。朝と夜しか食べません。何故かと言うと、食べる所が混んでいたりすると時間が取られてしまうためです。又、名産や特産は食べません。やはり混んでいて時間がかかるので見て終わりになります。ホテルは現地です。その日に調達します。行った場所によってはホテルがとれない場合があります。今回は釧路でバドミントン大会が開催されていたためこの辺はバドミントン関係者で一杯で

空いていないとホテルの人に言われました。最終的にはモーテルか野宿ですが、今まで野宿の経験はありません。私みたいなバイクで汚れた人間がフロントで今日一泊といっても満室ですと言われます。

毎朝ルートを点検します。目的はありません。女房にも3日位前に北海道に行くと言います。計画なしです。その様にしか言えないのです。

フェリーに乗船するのはバイクからです。バイクの特権として最初に乗船しますので新しい湯の風呂に入ることが出来ます。おにぎり、せんべい、飲み物を買ってフェリーの中で夜を過ごします。翌朝6時には苫小牧に着きます。下船はバイクは最後になります。朝は必ず吉野家で食事をとります。苫小牧で朝の6時に開いている店は吉野家しかありません。あとはコンビニしかありません。朝食をとりながら「さあ、どうするか」と考えます。ここから旅が始まります。バイクを走らせ、B級スポットを立ち寄りながらハマトンベツを通り北海道を上に向かって行きオホーツク海の見えるところに着きました。海沿いはどんよりとして鉛色で気温は20℃ありません。やがて稚内空港に着きます。ここからはサハリンが見えるそうですが、この日は曇っていて見えませんでした。稚内まで636kmですが、自分としてはちょっと足りない感じで、もう100km位走りたいと思い少し戻って紋別あたりまで行こうとしたところ雨が降って来ました。5時頃の雨は一番ひどいので紋別で泊まることにしました。とびこみでいったホテルは去年倒産しました。入ってお願いをしたら1泊6,000円でツインの部屋に泊めていただきました。その時は非常にありがたいと思えました。朝食後、部屋に戻って天気チェックをします。全て雨・曇りで暗澹たる気持ちになります。どこに行ってもよいのか分からなくなりますね。テレビでもチェックします。実際に私の行きたかったのは帯広・釧路でしたが、帯広・釧路は雨ということで最悪の状態になりましたが、今回のツーリングはB級国道を走るということですので、敢えて雨の中に入ると決め、朝からレインウェアを着けてスタートしました。

稚内から宗谷にバイクを走らせます。真っすぐな道路でほんとうに気持ちが良いです。平均速度80~100kmで走らせます。稚内の人達はどんな人達なんだろうと見てみますと、非常に家が大きいのです。目の前が海で海拔5mあるかないかという所に家を建てて居るのです。車も大きな立派なものを持っていて、クルマエンゲル係数が高いところでした。

ライダーハウスといって、30年位前に北海道で人気が高まり大ブームになりました。当時バイクの仲間たちが集まるようなホテルですが、今は誰も入っておりません。

シェルターもあります。冬になると横なぐりの雪が降りますので、シェルターの中で一時しのぎをするためのものです。廃屋も多くあり、その中に大きな立派な家もあり、北海道という感じです。

— スライドを使っているツーリング談、小野寺伸浩会員の楽しいスピーチでした。